

保護者様

三田市立けやき台小学校
校長 福井 博行

通知表「あゆみ」の見方について

師走の候、保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、1学期にもお知らせしましたとおり、令和2年度から新学習指導要領が全面実施となったことに伴い、通知表「あゆみ」の内容が変わっております。通知表「あゆみ」は、お子さまの学校における学習や生活の様子をお知らせし、家庭と学校が力を合わせてお子様のより望ましい成長に役立てていくことをねらいとして作成しているものです。

通知表「あゆみ」をご覧くださいにあたり、主な内容についてお示しします。お子様の次の学期への目標や励みにつながるものとしてご活用くださいますようお願いいたします。

1. 学習のようす（現在の評価観点）

新学習指導要領に示された目標や内容をもとに、通知表「あゆみ」における各教科の評価の観点は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に統一されました。この観点表記は、学習指導要領改訂に伴う三田市の共通様式となっています。

○知識・技能・・・「何を理解しているか、何ができるか」

各教科で身につけるべき知識や技能について、十分に習得しているかを評価します。学習する過程で身につけた知識や技能に加え、すでに身につけている知識や技能と関連付けたり活用したりすることができているかも評価します。

体育で例えると、リレーの助走やバトンパスの仕方について理解すること、また保健領域（3年以上）に関する理解が知識で、実際に理解したことが、運動をする時に、実践できることが技能です。知っていることとできることは密接に結びついているので一つの観点として評価することになりました。

○思考・判断・表現・・・「理解していること・できることをどう使うか」

課題や問題に対し論理的に考えながら解決していく力や、仲間と協力しながら問題解決していく力、考えたことをわかりやすく表現する力が身につけているかを評価します。

体育で例えると、リレーで友達の走り方を見て、手の振り方や足のはこび方等、学習したこと以上の発見をすとか、サッカー等ゲームにおいてチームのメンバーの力を活かした作戦を考える等の力です。

○主体的に学習に取り組む態度

挙手の回数やノートの取り方などの形式的な活動ではなく、知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力を身につけたりすることに向けて、粘り強く学習に取り組む態度や、自ら学習の進め方などについて工夫したり改善したりするなど試行錯誤しながら自己調整しようとする態度を評価します。

低学年では、めあてに対して自分はどうな風に取り組んだか振り返ることが重視され、中学年以上は振り返ったことを次の学習に活かすことが求められます。

（例）6年生国語

教科	評価の観点	目 標	1学期
国語	知識・技能	言葉の特徴や使い方、話や文章・図表に含まれる原因と結果などの情報と情報との関係について理解し、正しく使うことができる	・・・
	思考・判断・表現	筋道を立てて考え、互いの立場や意図を明確にしなが伝え合い、思いや考えを広げている	・・・
	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつよさや豊かさを認識し、考えを広げるために進んで読書をし、思いや考えを伝え合おうとしている	・・・

2. 学習のようす（評価）

評価については、各教科の観点ごとの目標をどの程度達成できたかを学期ごとに「よくできる」「できる」「がんばりましょう」の3段階で評価しています。「よくできる」「できる」のいずれも学習目標を達成している状況であり、さらに「十分に」「おおむね」の2段階で示しています。

よくできる	学習目標を十分に達成しています。
できる	学習目標をおおむね達成しています。
がんばりましょう	十分でないところがあり、努力や取り組みが必要です。

◎評価方法

テストの結果だけではなく、日々の学習態度やノートやワークシートへの記述内容、授業中の発言内容、学習のまとめやレポート等を総合して評価します。量より質が求められているので、テスト以外の比率が大きい場合もあります。また、作品の制作や表現などの多様な活動、児童による自己評価や相互評価等の状況など、さまざまな面から評価します。この評価は絶対評価（目標に準拠した評価）です。人と比べるのではなく、一人ひとりの学習目標への到達状況を評価しています。基本的には、各観点のねらいが達成されていれば「できる」としています。

3. 行いのようす

行動の記録の評価項目については、他の児童と比べてではなく、その子個人の中で、特によく「頑張っている」「十分達成している」と判断できる顕著なものに○印を付けています。○のついていない項目が「もうすこし」という意味ではありません。

4. 「特別の教科 道徳（1～6年）」・「外国語活動（3・4年）」・「総合的な学習の時間（3～6年）」

- 特別の教科道徳の評価は、授業における発言や振り返りを基に、子どもの考えの変化や価値について記述しています。
- 5, 6年生の外国語は教科ですので、他教科と同様に3観点で評価しています。3, 4年生の外国語活動については、評価観点に応じた学習の様子について文章記述しています。
- 総合的な学習の時間については、その学期の代表的な学習活動を取り上げ、本校では「みつめる力」「みとおす力」「もとめる力」「ひろげる力」「ふりかえる力」を評価の観点として、学習の様子を文章で記述しています。

5. 特別活動・生活・学習の状況

いわゆる所見です。学校行事、当番・係活動などの特別活動や学習や生活において見られたお子様の良さやがんばり、成長したところについて、さらなる成長を願って文章で記述しています。今後の課題について記述している場合もあります。

6. 係・当番・クラブ・委員会の記録

所属した「学級活動（係・当番）」、「クラブ活動」、「委員会活動」の名前を記述しています。

7. 出席のようす

「出席日数」、「欠席日数」、「忌引・出席停止」について月ごとに記録しています。1学期は4～6月、2学期は7～11月、3学期は12月～3月までの記録が記載されます。新型コロナウイルス感染症対策に伴う「出席停止」は、「忌引・出席停止」の欄に含みます。

8. その他

押印見直しの観点から、今年度より市内すべての小学校で、「あゆみ」の『校長』『担任』『保護者』の押印欄が廃止されています。

9. 大切にしてほしい3つの視点

☆ 学習の評価について

お子様といっしょに、話し合いながら見てください。「よくできた」○の数をかぞえるのではなく、子どもが頑張ったところ、評価が良い点を具体的な言葉でほめてあげてください。子どもの中に自信と意欲が出てきます。また、反対に「がんばりましょう」の評価がついた点については、叱るのではなく、今後努力すれば変わっていけると、伸びていけるとと捉え、「どうやってよくしていこうか」を一緒に考えるようにしてください。

☆ 所見について

特別活動の様子や生活の様子など所見の欄を読んで、担任の「意図」を共有してください。所見の欄には、子どもの頑張りや努力について、また教科の観点評価だけでは伝えきれない「もっとよくなるためのポイント」などが記されています。「○○ができたんだね。次からは○○も頑張ろうか」など担任の先生と“想い”を共有して共に子どもの成長を応援していきましょう。

☆ 自尊感情を高める

兄弟姉妹、お友達などとの比較、前年度との比較は、子どもの自信を無くすことにつながります。学級担任は一人ひとりの良さや可能性を積極的に見つけ、それを伸ばすように努めています。ご家庭でもお子様の「頑張りや良さを見つける」という視点で声かけをお願いします。得意なものをさらに伸ばすことによって自分に自信がつき自尊感情も高まります。認められること、褒められる経験は必ず意欲につながります。

